



中高生とともに差別と闘う

『自分にとっての人権学習2』

吉成タダシ (うずしおブランチ代表)



自分にとっての人権学習2

学年全体人権学習での私の発問「あなたにとって、このような人権学習の時間にはどんな意味がありましたか。」に対する応答のつづきです。

◆「高校生になっても人権に対する意識を下げないで、できれば上げられるようにするために、普段から人権意識をもったり、ニュースを取り込んでいきたいと思いました。人を傷つけないためにも、もっと人権学習をしていきたいです。」

◆「私にとっての人権学習は世界を知るツールでもあれば、自分自身と向き合う時間でもあったと思います。この2年で私自身のことをより深く考えられるようになったと思います。」

◆「私に子どもたちに人権学習がヒットするのかわからない。人権学習を通じて世の中のことを知れるからだと思います。見えなかったものが見えはじけたり、分からなかったことが分かったり、分かったと、面白いのです。そこまですると、放っておいても社会で起きていることに関心を持ちます。ニュースや新聞を見るようになります。これは、勉強ができるかどうかより、生きていくうえで大切なことだと思います。」

◆「私は努力することが嫌いです。頑張るとか熱心とか言われても、前はよく分かっています。でも中学に入って人権学習を受けていると、吉成先生が熱心に生徒に対して人権を語って、それ

につられて生徒も考えたり、発表したりして頑張っている。「あー、頑張るとか言っていることはこういうことなんだ」と思えました。私にとって人権学習は、頑張ることや努力すること、それを継続することを知らずという意味があったと思います。それでも私はやっぱり努力することが嫌いで面倒くさくて、自分に負けてしまうときがあります。だから学ぶだけじゃなくて、知ったなら行動に移し、自分という峠を越えていきたいです。」

◆「素直な語りが、何とも言えず心地いいです。何かを頑張った経験なんてないという小学生は確かにいます。そんな子が「頑張れ！頑張れ！」と言われても、何をどうすれば「頑張る」ということなのか分かりません。それを少しずつ分かってくうえて、学年みんなが語り合う時間は有効なのだと思います。しかも、誰かに言われてやるのではなく、自らの主体性において努力や継続、行動にうつそうと思えるところが素晴らしいなと思います。」

◆「自分にとってこの人権学習の時間は、心の整理だと思っています。いろんなことに目を向けて考えて行動したり、伝え合ったりする。そうすることで幅広く社会を見れるようになるための人権学習だと思おうので、これから数回しかない人権学習を主体的に学び続けたいこうと思っています。」

なるほど、「心の整理」とは上手く言ったものです。確かに、自

分を見つめ直すという点においては、あまりない貴重な時間であったのかも知れません。この年頃の子たちには、どの子にとっても必要な時間だと思います。」

◆「私にとっての峠とは、学ぶこととです。どんな知りたいたいという気持ちで糧にして学び登り詰めていけば、結果は返ってきたときに達成感を感じて、そういうところが峠を登っていった頂上に着いたときの達成感と同じ感じがするのかなと思ったからです。人権学習も、私にとっての学ぶことに当然入っていて、人権学習で他の人の意見を聞くことが、私にとってはすごい楽しいというか、新鮮な感じがして、いいなと思いました。人権学習をしていくなかで、私は自分自身の心がはつきり聞かえてくるようになって、この人権学習の時間は自分自身を見つめることができるので、みんなにも私のことを見つけてもらったという感じがしてました。これからのこういつた体験とかを大切にしていけたらいいなと思います。」

◆「心が聞こえる」とはまた、なんと素敵な表現でしょう。中学生の感性に脱帽です。けど、言われて本当にその通りだと思います。そしてその心の声に忠実に従っていくうちに、自分自身を見つめて、周りにもその姿を見つけてもらえたと言います。そんな関係性のある集団で過ごせるって、安心ですね。」

◆「私はこれまで人権学習に参加

してきて、一年の時の自分と比べると、本当に人権学習に真剣に取り組むようになりました。正直に言うところ、最初は人権学習に興味がありませんでした。でも人権学習をしていくなかで、自分の中の何が動かされて、いつの間にか興味をわいてきました。それは発表しているからだと思います。そのとき自分は本当に人に心を動かされるということを実感しました。また熱い思いを伝えられる吉成先生や発表者の人たちは、本当にすごいと思いました。そして本当に人権学習に参加できてよかったです。これからこの学年で、この学年でしかできない人権学習をしていきたいです。」

◆「熱」ですね。やはりこれに尽きます。情熱と言ってもいいかもしれません。それぞれに合う「熱」の温度は様々ですが、いずれにしても必要なものは「熱」だと思います。」

◆「一人一人、発言の一つ一つは不完全です。すべてを語りきることはできません。でも、みんなの思いを合わせると、総体として完全な答えになっているように思えます。これは、一度や二度の学習では得られないものです。何度も何度も積み重ねて初めて得られた、得難い財産です。一生の宝物と言いたいかもしれません。あとは、「私たちにこれがあつた」と、堂々と伝えられるかどうかです。それが問われるのは、これからです。」